

目標達成計画

事業所名 認知症対応型共同生活介護
グループホームかんの里(なごみユニット)

作成日 令和5年3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に木曜をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた、目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待の芽チェックリストを活用され、振り返りを行なわれることに期待します。	高齢者虐待防止会議を行い、職員一人一人の虐待防止に対する意識を高める。	虐待の芽チェックリストを利用して、職員個々が自分のケアの振り返りを行うようにする。	3か月
2	12	個々の職員への面談は行われていませので、管理者と共に目標設定、振り返りの機会を持たれることに期待します。	入居者の状態像と時代に合わせた働き方を検討する。	職員会議を通して働き方についての意見を聴取する。 職員面接を実施する。	6か月
3	20	昔話をして頂くきっかけ作りとして回想法に繋げ利用者の思いや意向に繋がっていくと良いと思います。	入居者個別のつながりを大切にしたい実践を行う。	感染対策を行ったうえで地域交流や外出、面会等を再開してつながりを再度繋ぎなおしていく。 地域及び施設内の感染状況によって一時的な交流の中止を検討する。	2か月
4	23	本人の理解できる、生きるための目標につなげていけると良いと思います。	施設内で完結しない目標と支援を実践する。	従来通り本人の思いを聞き、家族と共同で自己実現に向けた支援を行う。	6か月
5	35	事業継続計画(BCP)については、早期の策定を望みます。	BCPを策定し、職員に周知をする。	BCP策定のための研修への参加 具体的な平常時の対策と、緊急時の対策を施設内研修を通して職員に周知する。	12か月